

令和 8 年度 「地域連携推進会議 議事録」

日 時：2026 年 8 月 29 日（土） 10：00～12：20

場 所：障害者支援施設 あかしや寮 多目的ホール

出席者：外部委員

保護者会会長（1 名）、民生委員（3 名）、社会福祉士（1 名）

グループホーム入居者代表（1 名）

あかしや寮利用者代表自治会会長（1 名）

事業者側

あかしや寮・グループホーム管理者

あかしや寮サービス管理責任者

あかしや寮主任生活支援員

グループホーム副主任生活支援員

グループホーム生活支援員兼世話人

法人本部事務局員

児童発達支援管理責任者（記録係）

【議事の経過及び結果】

1 開会・挨拶（10：00～10：10）

（1）事業者より開会挨拶

- ・あかしや寮・グループホーム管理者より御挨拶

（2）会議の趣旨説明

- ・あかしや寮サービス管理責任者より説明

本会議の趣旨として、「顔の見える関係」づくり、相互理解の推進、運営の透明性と質向上、利用者の権利擁護について説明された。

（3）参加者紹介（利用者代表を除く）

2 事業所見学（10：10～11：20）

（1）施設見学

2 グループに分かれ、あかしや寮及びグループホーム 3 カ所の施設見学を実施。

(2) 参加者からの質問・意見等

別紙参照

3 報告・協議・意見交換(11:20～12:15)

参加利用者紹介(グループホーム入居者代表、あかしや寮自治会会長)

(1) 第1号議案 運営状況及び利用者の現況について説明

① 当法人について

法人理念、各種実施事業、組織体制(委員会の構成)、令和8年度の重点目標について説明。

② あかしや寮について事業所説明

利用者の高齢化・重度化の現状、夜勤職員など福祉人材不足による受け入れ制限の課題について報告された。

③ グループホームについて事業所説明

職員の配置基準充足が難しく受け入れ制限中である事、入居者1名が一般就労、他は、当法人の就労継続支援B型事業所へ通所し、休日などは職員が買い物や通院のサポートを行っている旨報告された。

④ スライド上映

あかしや寮・グループホームにおける日中活動の様子をスライドで紹介

⑤ 利用者の声

・グループホーム利用者代表より(意見)

「いろいろと楽しいです。」

「世話人さんが作ってくれる御飯がおいしいです。」

・あかしや寮自治会会長より(意見)

「活動でみんなと一緒に歩行訓練をしたり、ラジオ体操をしたりして楽しいです。」

「創作活動も一緒にがんばっています。」

⑥ 管理者より(補足説明)

最初の障害者グループホームは、一般住宅に住み、地域生活が送れるようにと支援がスタートした経緯についての振り返りや説明があった。

また、他の2棟のグループホームは、現在の防災・防火基準に合わせて建設されていることや維持管理・運営の難しさについて説明があった。

⑦ 質疑応答・意見など

特になし

(2) 第2号議案 虐待防止・権利擁護の取り組みについて

① 発生状況について

あかしや寮、グループホームともに虐待発生なし

② 取り組みについて

虐待・身体拘束防止委員会の設置、毎月の職員会議での振り返り、年に2回の職員セルフチェックとフィードバック実施、人権擁護委員などの外部講師招聘や法人内研修を定期開催し、意識向上を図っている旨が報告された。

③ 利用者の声

- ・ グループホーム利用者代表より（意見）

「怒られません。」

「職員みんなちゃんと教えてくれます。」

- ・ あかしや寮自治会会長より（意見）

「ちゃんと職員が気をつけて、教えてくれてるなと思います。」

「職員が指導してくれるので、みんな良くなったと思います。」

④ 質疑応答・意見など

- ・ 民生委員より（意見）

「近隣の神社の近くに住んでいるが、利用者さんとはあまり会うことはありません。」

神社の周りなど草が生えてしまっているが、ボランティアとして草取りなどができたらどうかと思っています。

ボランティアで地域とつながれる、そんなちょっとしたつながりができたら素敵だと思います。」

「古い男性用グループホームの建物が貴重な存在だと思いました。」

「他の2つのグループホームの建物もきれいで、こういう生活をしながら支援をしてもらえるのは、日本は良い国だと思いました。」

(3) 第3号議案 ヒヤリハット・事故発生状況と再発防止策

① あかしや寮説明

車椅子利用者の転倒防止のために人感センサー導入、誤投薬・服薬忘れ防止のために投薬マニュアルの再徹底（声出し・指差し確認）、投薬後にお薬ボックスのダブルチェックを実施するなどの取り組みが報告された。

2件の無断外出に関しては、利用者の障害特性に合わせた見守り強化と出入り口施錠時の職員間連携強化徹底が報告された。

② グループホーム説明

服薬ミスに関しては、服薬カレンダーの活用、朝夕の職員による確認、職員不在

時はあかしや寮職員による電話確認の実施が報告された。

③ 質疑応答・意見など

- ・ 社会福祉士より（意見・提案）

「仕事柄老人ホームやグループホームを見てきているが、服薬に関して、本人の写真と薬名が書いてある物をカラーで準備してありました。参考にさせていただければと思います。」

（４）苦情要望の発生状況と対策

① あかしや寮

連絡遅延への対策として情報共有の密接化、受診判断の優先、ケース記録への迅速な記載および、正確な伝達とトラブル防止のために電話録音装置の導入が報告された。

小遣い受領に関する訴えに対しては、毎週月曜日にお渡しする運用ルールの明確化が報告された。

② グループホーム

特になし

③ 質疑応答・意見など

特になし

（５）第５号議案 地域との連携・交流・防災防犯

① 地域活動

地域生活清掃への参加、地元町内会の納涼会や地域の敬老会への参加。

今年度も法人として地域の皆様に感謝の気持ちをお伝えする『感謝祭』開催予定であると説明された。

② 地域理解・協力

地元の商業施設のご協力によるお買い物デーの実施、「夏ボラ」として地元中学生の受け入れを行ったことが報告された。

③ 防災

地元の防災協力隊（隊員１０名）と毎年夜間を想定した防災訓練、救命救急講習を実施。おいらせ町指定の「福祉避難所」として炊き出し訓練を実施していることが報告された。

④ 防犯・安全管理

防犯カメラ設置、警備会社との緊急通報契約、警察署と連携した防犯講話・刺股訓練に実施について報告された。

⑤ 管理者より補足説明

当事業所では、防犯および安全管理の一環として早期から見守りカメラ（防犯カメラ）を導入している。利用者の安全確保や虐待防止だけでなく、事故発生時の状況確認や職員を守る目的もある旨を説明した。

⑥ 質疑応答・意見など

・ 社会福祉士より（意見・要望）

「野菜や椎茸などを作っていると思いますが、売る場所を作って販売してはどうでしょうか。ここで売っているっていうのを周知・PRして、利用者が販売して、近隣住民の方に購入していただくといいのではないかと思います。」

椎茸とか欲しいなって思っても売ってないし、土日とかにも買えるようにしてあるといいなと思います。出店みたいに販売して欲しいなと思います。」

・ あかしや寮 管理者（回答）

「無人販売所はあるが、わかりにくいかもしれない。今後、販売方法を工夫していきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。」

・ 民生委員より（質問）

「利用者さんは、携帯とか使っていますか。スマホ使用によるヒヤリハット、トラブルなどはありませんでしたか？」

・ あかしや寮 管理者（回答）

「以前、携帯を所持していた利用者もいましたが、入所では現在はいません。短期入所やグループホームでは、スマホを所持している利用者もいます。使用を禁止している訳ではありません。」

「以前、電話料金が高額になってしまったケースはありました。」

・ 民生委員より（質問）

「スマホの管理はどうされていますか？ゲームの課金など。」

・ あかしや寮 管理者（回答）

「利用者の通帳管理は行っていますが、電話料金の管理まではしていません。」

・ 民生委員より（質問）

「SNSの被害などはありませんでしたか？」

・ あかしや寮 管理者（回答）

「今のところそういった被害はありません。」

（６）第６号議案 第８期障害福祉計画に向けた今後の取り組み

① 地域生活移行と住まい

高齢化・重度化に対応出来る宿直型グループホームの検討、人材確保に向けた外国人材受け入れとその宿舎建築計画と報告された。

② 日中活動と住まいの分離

休止中の生活介護事業所「わくわく」の再開、新事業所建設を計画しているが、資材高騰により調整中であると報告された。

③ 生産性向上

D X 機器、記録システムの更新による業務効率化を図っていると報告された。

④ 質疑応答・意見など

特になし

(7) 第7号議案 地域委員会からのご意見・ご助言・その他

・ 民生委員より（質問）

「望まないセルフプランとは、こういった事か？」

・ あかしや寮管理者（回答）

「セルフプランとは、利用者本人の望んでいる生活の計画です。利用者一人一人に対する個別支援計画が利用者の法等の希望に沿ったものなのか、そうでないのかが問われています。利用者の中には、発語のない方もおり、本人の意思を汲み取るのは難しい。」

・ 民生委員より（質問）

「発語がないと意思確認が出来ないと思うが、どのように汲み取っているか？」

・ あかしや寮 管理者（回答）

「職員の資質向上を図り、本人の意思確認をしながら個別支援計画を作成している。ただ、それが負担となって離職の原因の一つになっているかもしれない。」

・ 民生委員より（意見・質問）

「本人が意志表示できるか、本人が本当に喜んでやれるかが難しいと思います。」

「デジタル化社会になる、介護ロボットなどの導入もあるが、予算がかかる。国はそういった面の支援はしてくれるのか？」

・ あかしや寮 管理者（回答）

「介護保険には、補助が出ている。しかし、障害者福祉に補助金は出すと言われているが、明確な指針は打ち出されていない。」

・ 民生委員より（意見）

「近隣に住んでいるため、時折散歩や近所、自動販売機などに出かけられている利用者さんの様子をお見かけします。地域の身近な存在として見守っています。」という温かいご意見が寄せられた。

- ・ 民生委員より（意見）

「事業所近くにある神社が地域とのつながりを持てる場所として、ちょっとした散策や交流の場に活用出来るのではないか。」という地域資源活用のご助言をいただいた。

- ・ 放課後等デイサービス事業所キッズハウスピッピ児発管より（説明）
放課後等デイサービスについて説明とPR

4 まとめ・次回日程（12：15～12：20）

（1）次回開催予定

日程は決まっていないが、次回も協力をお願いしたい。

（2）アンケート依頼

本日の感想・追加の意見についてアンケート用紙への記入・投函を依頼

5 閉会（12：20）

【次回までの継続検討他】

- ・ 利用者が生産活動などで栽培した野菜や椎茸の販売方法の再検討
- ・ 服薬に関するマニュアルなどの再構築
- ・ 地域行事への参加
- ・ ボランティア手配に関する自治会・民生委員との具体的な連携案
- ・ アンケート結果の集計と次回会議での報告

【会議後の外部委員からのお話】

- ・ 自分自身、ボランティアをしたいと考えている。お花、陶芸などお手伝いできる事があればと思っている。
- ・ 座禅を活動に取り入れてみるのはどうか。お寺に行って静かに座っているだけでなく、歌うようにお経を唱える形のものもある。お寺の方とつながぐことも可能である。
- ・ 以前、児童厚生員の経験もあり、集団での生活が難しいお子さんがいる事も知っている。地域の中で子育てに困っている方がいたら、放課後等デイサービスの事を教えてあげたいと思う。

「別 紙」

事業所見学について（１０：１５～１１：１５）

当日は２グループに分かれて障害者支援施設及び各グループホームの見学・説明を実施した。

第１グループ

案内対応： あかしや寮 サービス管理責任者、あかしや寮・グループホーム担当者

見学者： 民生委員３名

【主な見学内容および意見・感想】

（１）障害者支援施設 あかしや寮

- ・ 築４１年が経過しているものの、非常に清潔かつ行き届いた管理がなされていると高い評価を得た。
- ・ 女子棟空き部屋のベッド（ピンク色）について「可愛らしい」と好評であった。
- ・ 食堂の利用者作製絵画について説明を行い、関心を示された。
- ・ 食事支援に関して、季節の食材の活用、行事食、buffet形式、選択メニュー（そば・うどん等）の取り組みを説明したところ、「良い試みである」との評価をいただいた。
- ・ 浴室案内時には特殊浴槽（機械浴等）を紹介し、浴槽のひび割れは、近日中に改修工事予定である旨を説明。「施設の浴槽とは思えないほど広く綺麗である」との感想があった。
- ・ 重度棟前において、同棟には和室（畳）がないこと、および安全管理のため現在は施錠管理を行っている旨を説明し、理解を得た。

（２）グループホーム

① 女性用グループホーム

- ・ 屋外のハウスに洗濯物が干してある様子を見て、「良い環境である」とお褒めの言葉をいただいた。
- ・ 共有スペースについて「可愛らしく女性的で、綺麗に使用されている」との感想があった。また、空き部屋の収納スペースや十分な広さについても納得された様子であった。
- ・ 浴室およびトイレの設備に関しても「十分な広さがある」と驚き交じりの評価をいただいた。

② 男性用グループホーム２棟

- ・ 古いホームでは「懐かしさを感じる建物である」との感想があり、特に浴室の構造について参加者同士で歓談される場面があった。なお、トイレについてはリフォーム済みである旨を伝えた。
- ・ 支援内容として、入浴支援の必要性、排泄の自立状況、衣類管理等のサポートにつ

いて説明を行い、深い理解を得た。

- ・ 食事面において、世話人が入居者の嗜好を取り入れた家庭的な食事提供に努めている旨を説明した。見学者より「毎日世話人が配置されているのか」「土日の食事はどうしているのか」等の質問があり、「土日は支援員が入り、入居者は弁当等を購入している」旨を回答した。
- ・ 金銭管理は原則本人が行っている旨を説明した。あわせて、入居者とのコミュニケーションを重視し、相談事等へ迅速に対応する姿勢を伝えた。
- ・ 移動中を含め終始和やかな雰囲気で行進し、地域や民生委員の話題等で親睦を深めた。

第2グループ

案内対応： あかしや寮 主任生活支援員、グループホーム 生活支援副主任

見学者： 保護者会会長、社会福祉士

【主な見学内容および意見・感想】

移動車内にてグループホームの概要説明を実施した。

(1) グループホーム

① 男性グループホーム

- ・ 訪問時には「住宅街（団地）の中にある」ことに驚かれた様子であった。
- ・ 社会福祉士より「食器は個人の物を使用しているのか」との質問があり、共有の食器を使用している旨を回答した。
- ・ 浴室を見学した際、「2～3人は入れそうな広さがある」との感想があったため、1名ずつ入浴している旨を説明した。

① 女性グループホーム

- ・ 保護者会会長より「普段通勤で通っているが、施設があることに気づかなかった」との発言があり、施設の外観や新しさ、清潔さについて双方より好評を得た。

(2) 障害者支援施設 あかしや寮

- ・ 特殊機械浴槽の見学時には、見学者が強い関心を示されていた。
- ・ 寮内見学の際、保護者会会長が御家族に積極的に声をかけられる場面があった。また、利用者が昼食をとる様子を見て「元気に食べていて良かった」と安堵の表情を見せていた。